

# Cardano Real World資産ローンチパッド

## 問題点

ある調査によれば、17億人以上の人々が金融システムにアクセスできない。そのため、道具を買う余裕があれば働こうとする人々が働けず、貧困層が貧困から抜け出せずにいる。

## 解決法

IOT技術を使ってリアル・ワールド・アセットのローンチパッドを構築し、こうした人々が金融システムにアクセスできるようにし、彼らを支援する投資家に利子を分配します。

## 私たちの提案が他の製品に依存するものか

はい。

私たちは、GMS(Global Mobility Service株式会社)が開発した[MCCSというIoTシステム](#)に依存し、銀行口座を持たない人たちや、金融のため信用が不足している人が働くことで信用を獲得できるシステムを提供します。

## 我々のソリューションについて

世界銀行Findex Dataの調査によると、2011年から2017年の間に12億人の成人が口座が持てるようになるという金融包摂に向けて大きな前進があったにもかかわらず、2017年には17億人成人の3分の1近くが依然として銀行口座を持っていない。銀行口座は持っているものの、信用がないために銀行から融資を受けることができない人々はもっと多く、必要な道具を買うことができないために仕事ができないことさえある。十分な信用はないが、働く意欲のある人々に融資制度を利用してもらうにはどうすればいいのだろうか。

残念ながら、信用のない人々がお金を借りる方法は非常に限られている。仮に借りられたとしても、こうした後進国に関しては、銀行自体が資金を持っていないことが多く、非常に高い金利を取らざるを得ない。これでは、貧困にあえぐ人々はそのまま貧困の状況に止まるしかない。

私たちのソリューションは、IoT(MCCS)デバイスを活用し、FintechとWeb3の力を組み合わせることで、信用のないこれらの人々がローンを利用できるようにする新しいRWA(Real World Asset:実際の資産と紐づいた)金融サービスを作ることです。

MCCSを搭載したモビリティで真面目に働き続ければ、現在の信用が不足していても融資を受けることができます。これにより、働くための道具がないために法外に高い手数料を親方に支払っ

ていた運送業、タクシー、旅客バスの運転手などが、自分の車を持ち、信用を形成しながら貧困から抜け出すための一歩を踏み出すことができるようになります。

ブロックチェーン技術とこのIoTデバイスとローンのサービスをミックスすることで、従来のサービスにアクセスできない人たちのためのFinTechシステムを作りたい企業が、Web3エコシステムの投資家から資金を借りることができるプラットフォームを提供します。

すでに我々はRWA Launchpadプラットフォームの[プロトタイプ](#)は構築済みで、(リンクから確認できます)、日本の法規制もクリアしています。2024年初頭にはテスト販売を開始する予定です。このプロトタイプで、予定している機能を体験してみることができます。

我々はこの提案を通してこのプロトタイプから以下の機能を構築する予定です。

- 1.カルダノのウォレットコネクターを作成する。
- 2.投資を証明するためにCNFTを鑄造する機能を追加する。
- 3.2で言及したCNFTを保有すると得られる報酬を請求する機能を追加する。
- 4.デザインとサイトトップのアップグレード
- 5.ユーザーエクスペリエンスの満足度をあげるための機能追加

当初のデザインはアルファ版として限られた機能しか備えていませんが、β版では、購入や所有の体験が、投資を通じて世界をより良い場所にしていると感じられるようにアップグレードします。

それに加えて、あなたが投資している地域についても深く知ることができるコンテンツへのアクセス機能を追加します。また、このフィンテック・システムを通じて融資を受けることができた何人かの実際のエンドユーザーを知ることができ、さらにIOTデータを通じて彼らの行動をある程度追跡することもできるようにします。

テスト販売はまずポリゴンブロックチェーンで始めますが、カルダノウォレットのコネクターを作ります。ポリゴンから始める理由は、私たちのスキームでは、強固で安定したステーブルコインが不可欠だからです。

カルダノで生まれた安定したコインが一定の品質を証明したら、できるだけ早くカルダノでサービスを開始します。(そのためにウォレットコネクタを作り、テストをします)。

Cardanoでのサービス開始後は、Cardanoを選択した場合Polygonよりも高い報酬をユーザーに提供し、Cardanoを選択するインセンティブを与える予定です。

実際のところ、日本ではCardanoのネイティブトークンやCardano Defiを利用している人は少ないですが、このプロジェクトを通じて、Cardanoエコシステムを知らない人を我々のスペースに取り込むことを目指します。

弊社(Apas Port)はこれまで多くのNFTプロジェクトやNFTコミュニティ(日本では8万人以上が参加)を成功に導いてきました。弊社はCardanoの優位性(コミュニティに良い、気候に良い、セキュリティに良いなど)を強調し、イーサリアムエコシステムに参加している人々を一人でも多く取り込みます。

また、カルダノのエコシステムのステークホルダーと積極的に協力し、カルダノのユースケースを広めていきます。

このソリューションは、ブロックチェーンの力を活用して銀行口座を持たない人々のためのインフラを構築するものであり、カルダノのビジョンとも関連しています。カルダノのビジョンに合致し、私たちのエコシステムのイノベーションを促進します。

## Cardano全般に与えるインパクトについて

私たちのアプリケーションで、Real Financeの技術をカルダノのエコシステムに搭載することができます。カルダノは主に、銀行口座を持たない人々に金融へのアクセスを提供するためのインフラ構築に注力してきました。

私たちのプロジェクトの貢献：私たちのソリューションは、カルダノのエコシステム内の主要な課題に直接取り組み、以下の方法でエコシステムを大幅に豊かにします

- 1.実際のフィンテックIOT(MCCS)サービスに基づくReal Fiの技術をカルダノのエコシステムに搭載する。
- 2.ソーシャルグッドなサービスを採用したい人々がエコシステムに参加する。
- 3.日本の大手企業との素晴らしいユースケースの構築
- 4.日本のイーサリアム/ポリゴンスペースにいる人々をカルダノのエコシステムに移行させる

インパクトの測定：私たちのインパクトを測定するために、定量的な指標を使用します：

- 1.ローンチパッドの登録ユーザー数の増加の追跡、
- 2.Discordのコミュニティ数の増加の追跡
- 3.私たちのローンチパッドからローンチされるプロジェクトの増加の追跡

成果と機会の共有：プロジェクトの成果と機会を以下の方法で共有します：

プロジェクト期間中および終了後、私たちはその成果を広めていく予定です。これには、月次報告書やマイルストーン報告書の提供、定期的なタウンホールミーティングなどが含まれます。終了報告書とビデオはYouTubeで一般公開されます。さらに、ウェブサイトやソーシャルメディアでも最新情報を共有します。

このプロジェクト(Paima Studioを使った開発プロセスはオープンソースです)はプロジェクトなので、コードベースはGitHubで公開されます。

また、コミュニティ・フォーラムやソーシャルメディア・プラットフォームを通じてコミュニティと関わり、定期的に最新情報や洞察を提供していきます。

結論として、私たちのプロジェクトは、カルダノプラットフォームの普及拡大を約束するだけでなく、活気に満ちた協力的なコミュニティを育成し、エコシステム内でのオープンソースのイノベーションと成長を促進します。

## 実現可能性について

私たちのチームは、このプロジェクトを成功させるにふさわしい適性を備えています。私たちは、このプロジェクトを高い信頼と責任基準で遂行するために必要な能力を備えています。

カルダノ開発、Web3開発、ビジネス構築、マーケティング、財務、法務のプロフェッショナルなメンバーを配備しています。

また、このエコシステムを構築するために、GMS: Global Mobility Service.が構築したIoT技術に基づくリアルファイを提供します。また、Global Mobility Service. GMSは、日本経済産業省のSDGsプロジェクト最優秀賞を受賞したIoT/Fintechのリーディングカンパニーです。